

緑の風 FAX版



JR 東労組ホームページ

NO. 80 2019年2月18日 JR東労組

19春闘スタート!

< JR 東労組 19春闘方針 >

1. JR東労組組合員の基本給を一律 6,000 円(定昇含まない)引き上げ
2. グリーンスタッフ組合員の基本賃金 6,000 円引き上げ
3. エルダー組合員の基本賃金 6,000 円引き上げ
4. 定期昇給を昇給係数4で実施
5. 第二基本給制度の凍結
6. 企画業務を担う組合員の待遇改善
7. 回答は 3 月 15 日まで



本部「職場討議資料」を活用し、

職場からたたかいはつくりだそう!

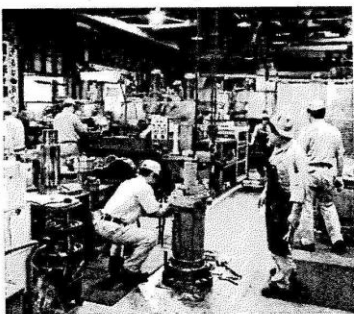
春闘ベア3000円の攻防

2019年春闘で自動車、電機など大手労働組合の要求が出そろった。トヨタ自動車労働組合はベアスアップ(ベア)要求額を示さなかったが日産自動車、ホンダなど他の労組はベア3000円を要求。日立製作所、三菱電機など電機大手もベア3000円で足並みをそろえた。世界経済の不透明感が漂う中、3月13日の集中回答日に向けた平成最後の春闘交渉が始まった。

春闘相場をリードし万2000円の賃上げしてきたトヨタ労組はベアを要求した。上部組織ア要求額を示さず、月の自動車総連が前年は額でベア、定期昇給分、「3000円以上」と各種手当を含め総額1 明記していたベア要求額について今年も明記の底上げにこだわると「トヨタ超え」への期待を込める。トヨタの春闘でトヨタ自動車系労組で構成する全下の経営側がベアの妥結を非公表とするよう盟のメーカー系労組の労組に要請したことが平均賃上げ要求額はある。トヨタのベア非平均賃上げ要求額は公表について連合の神津里季生会長は「水準自動車総連の高倉明は分かっており、中小、会長も「ベアだけ見れば中小が大手を超えるようになったが、定昇にも焦点を当てないと賃金格差は縮まらない」とし、グループ会社や下請け中小の底上げに軸足を移す。一

トヨタ労組ベア示さず

電機は統一戦線に



ば中小が大手を超えるようになったが、定昇にも焦点を当てないと賃金格差は縮まらない」とし、グループ会社や下請け中小の底上げに軸足を移す。一

「統一戦線」は、来年4月施行の「同定の結果を出したものの「労働同一賃金」に向けた非正規社員の待遇改善も焦点。NTT労働組合の毎月勤労統計を問わず年収ベースで示した実質賃金の伸び、2%の賃上げを要求。が疑問視されている。日本郵政グループ労働組合は新たに連合加盟組合は組合員の4分の1を占める非正規社員である月額約30万円を扶養手当の支給対象指針とする「社会横断」とするよう要求する。

2019年2月18日 日刊工業新聞